

令和6年度第3回亀岡市子ども・子育て会議 会議録(要旨)

□ 日 時 令和7年2月17日(月) 10時30分～11時15分

□ 場 所 亀岡市庁舎 3階 302・303会議室

□ 出欠状況

出席委員 安藤 委員、金田 委員、安田 委員、松本 委員、伏見 委員、猪子 委員、
山口 委員、野々村 委員、岩崎 委員、石田 委員、法貴 委員、木寺 委員、
吉田 委員、原田 委員(14名)

欠席委員 西山 委員(1名)

事務局 こども未来部 12名(部長、次長、子育て支援課、こども家庭課、保育課)

教 育 部 3名(部長、社会教育課)

オブザーバー 1名(株式会社サーベイリサーチセンター大阪事務所)

□ 傍聴者 1名

1. 開会

2. 開会挨拶

3. 議題

(1) パブリックコメント(意見募集)結果について

・資料1に基づき説明

(2) 第3期亀岡市子ども・子育て支援事業計画(最終案)について

・資料2に基づき説明

(質疑応答)

【委 員】83 ページの用語解説の下から3つ目「義務教育学校」の「小学校“過程”」の漢字が間違えているので訂正してほしい。

【委 員】意見募集結果の資料1にある令和7年度からの乳幼児教育センター事業は、事業計画のどこの部分に入るのか。

【事務局】計画最終案の36ページ「(2) 子育てに関する各種情報の提供、相談体制の充実」の取組事項・事業の最後の段に提示している。

【委 員】以前、市議会だよりにかめおか乳幼児教育センターの開設について掲載されていたのを目にした。今までは保健センターで検査を行っていたものが、同施設へ移行されるということか。

【事務局】乳幼児教育センターは、来年度から亀岡こども園(現：亀岡市立幼稚園)内に開設する予定である。現在は、保健センターで実施している乳幼児健診において発達に不安がある場合に検査を行っているが、保健センターでの検査

に加え、新たな取組として、臨床心理士等による乳幼児施設の訪問により発達課題が見つかった子どもに対しても検査を行っていく予定である。保健センターでも検査は継続されるほか、新たに乳幼児教育センターでも検査をしていきたいと考えている。

【委員】かめおか乳幼児教育センターだけでは相談したくても通いにくいと思ったが、拠点が増えるとのことで納得した。

ガレリアかめおかの図書館が子ども図書館に移行するという話が以前から出ている。それについての情報が載っていないのが気になった。それに関して、情報を追加するとか目標に含めることはないのか。

【事務局】計画最終案の40ページ「(1)子どもの個性を大切にした教育の充実」の取組事項・事業「読書活動の推進」の中で図書館の充実を挙げている。子ども図書館については、現在教育委員会で具体的な内容や今後の進め方を検討している段階である。現在は計画段階で、具体的なスケジュール等は未定のところも多いため、施策としては落とし込めていない。今後、この計画の見直し等の時点で盛り込んでいければと考えている。

【委員】計画案と関係ない話で申し訳ないが、保健センターの2階に行った時に、部屋の片隅にベビーカーやチャイルドシートがあった。公共施設にレンタルで設置するために、以前かめたんレザミ tetote さんで集められたものだと思うが、その話はどこまで進んでいるのか。

【事務局】公共施設で活用できたらというご好意でご提供いただいた。現在、保健センターにベビーカーをお持ちにならずに来られた方に、希望に応じてご利用いただいている。その他、子育て支援センターなどでも活用できないか検討している。

【委員】具体的にいつから始めるとは決まっていないのか。また安全性については、どのように判断されるのか。

【事務局】部品の欠損等安全面をチェックした上で、保健センターにおいて活用しているが、他の施設の状況や意向を聞く中で試行的に設置できればと考えている。

【委員】78ページ2「市民・企業等の参加・参画の推進」について。計画をこれから市民に広報し、参画を促して推進していくと思うが、どのような方法で市民に周知していくのか、また、どういう参画を促していくのか。

【事務局】ホームページ等へ掲載し周知を図るほか、概要版を作成し、窓口等に設置して広報したい。また、市民参画の一環として、計画を進めていくにあたり次期計画策定時など市民の方々の声をお聞きすることも行っていければと考えている。

【委員】より市民に広く周知できると良いと思う。今年7月に出産を控えており保健センターに3歳の息子と行ったが、この3年での変化をすごく感じている。伴走型相談支援ということで、出産妊娠期に向けた相談をじっくり聞いてくれる機会を作ってくれていることや、産婦人科での健診項目が増えていて、

3年前とは違う支援がたくさん展開されていると実感した。変化に気付く人も気付かない人もいるとは思いますが、こういう計画があることを市民に発信してより広がることで、亀岡市を良くしていこうと市が動いているという実感につながれば良いと感じた。

【委員】今後この計画が動いていくわけだが、心配になるのは人材不足である。誰も答えが出せていないと思う。計画ができて完成ではなく、市民がそれに関わる思いを持つ必要があると思う。4月からある他市町の幼稚園で通園バスが廃止になるとテレビで見た。今まで通っていた子が来られなくなる。バスの運転手の高齢化が深刻になっていることも原因であり、少子高齢化の影響が、生活全般にわたってきている危機感を市民は持つ必要があると思う。少子高齢化のために保育に関わる仕事をして、将来職場がなくなっていくと言われている。子ども・子育てだけでなく、生活そのものが危なくなっている。総合計画でも検討が必要だと思う。

【委員】保育の量の見込みと確保について。ゆりかごひろばという事業を開催しているが、最近では、千代川町、大井町の新しく開発された地域の方が利用者の3分の2を占めており、日によっては、すべてその地域の方という日もある。その中で、他府県や他市から転入された方に、なぜ亀岡市に来られたか必ず聞くようにしているが、ほぼ100%近い方がおっしゃるのは、子育て支援が充実しているということであった。これは素晴らしいことだと思う。一方で、共働き世帯がほとんどだが、低年齢の子は保育園に入れないということも聞いている。保育士の確保も難しいため、新規の保育園の設置は難しいと思うが、自分は本当に復帰したいのか、復帰したいならどこまで希望園の範囲を広げられるのか、例えば、時間が短くて幼稚園でクリアできるなら幼稚園で良いのか。それらの自分が持っている範囲の情報をお伝えしている。ただ、転入してきた方は地域の状況をご存知ない方が多く、この時期よく聞くのが亀岡市は田舎だし入れると思っていたということである。確実に入園が困難と分かっている場合は、2月ではなく11月の時点で伝えてあげた方が良いのではないと思う。

【委員】この頃テレビで保育などに関しても転職や求人の情報が流れていることが多く見受けられる。幼稚園などにも案内がくるのか。

【委員】毎日のように全国から電話がかかってくるが、利用をしてしまうと本来子どもたちに直接行くべきお金が、人材派遣会社に流れてしまうのではないかと懸念している。

(3)その他

・事務局より、今後のスケジュール（概要版作成）について説明

- ・事務局より、審議事項に係る検討事項や文言整理等について、会長、副会長一任のもと、進めたい旨について説明（全委員了）
- ・事務局（保育課）より、『特定地域型保育事業の利用定員の設定について（小規模保育事業所の開設）』について説明
（質疑応答）

【委員】小規模保育事業所の開設について、質問したい。私は、企業主導型保育園の地域の窓口をしている。1・2歳児の来年度の入園希望が少し出てきている。受け皿としては、小規模保育事業所の開設により広がると考えているが、募集開始時期はいつになるのか。認可園に落ちて行き先がなく、困っている方がいる。募集時期を広報してもらえると、不安も解消されると思う。

【事務局】事業者の申請がきちんと出てきた上で募集開始となるため、2月上旬から受付開始している。保育所の入所受付のスタートは11月だが、その時点で出された方は第一受付となる。その結果を2月上旬に開始したところであり、第一受付の結果が残念ながら入所保留となった方の通知の中に、小規模保育事業所受付の用紙も同封している。11月の募集で受付していない新規の方も対象として、二次受付している。二次受付は小規模だけでなく、一次で保留となった方も含めて2月末まで受け付けている。

【委員】他にご意見がなければ、事務局案で進めることとしたい。
（委員一同異議なし）

4. 閉会